

理解を深めるために

子どもたちが平和について考えを深めるためには、歌詞のどこに焦点を当てればよいのでしょうか。試演をしてくれた広島市立東野小学校の合唱クラブの子どもたちに、歌詞へ共感点や疑問点を書き込んでもらいました。そして、子どもたちの疑問の中から全員で取り組む課題を設定し、考えをより深める活動へとつなげてみました。紹介します。

<歌詞に書き込む内容>

- ・ 題名（曲名）について思ったこと
- ・ 詩の形について発見したこと
- ・ 想像したこと，イメージしたこと
- ・ この気持ちわかるなあ，と思ったこと
- ・ いいな，すてきだな，と思ったこと
- ・ こんなのはいやだ，と思ったこと
- ・ わからないこと，疑問に思ったこと
- ・ 考えたこと
- ・ もっとくわしく知りたいこと
- ・ 作者が言いたいこと（主題）

<指導の手順>

- 1 歌詞に書き込みをする
- 2 共感点や疑問点について、小グループで話し合う
- 3 教師が疑問点を集約し、主題に迫る課題を設定する
- 4 課題について考える
- 5 小グループで話し合う
- 6 全体で話し合う
- 7 考えたことを付箋に書く
- 8 掲示して共有する

「Beautiful Peace」

【課題】曲名「Beautiful Peace（美しい平和）」とは、どういう意味なのだろうか。

【子どもたちから】

- ① 「美しい（ ）」（ ）に入る言葉をたくさん考えよう。

花・鳥・みどり・海・空・にじ・景色・自然・光・結晶・
町・国・世界・地球・月・星・夕日・部屋・服・着物・

心・笑顔・声・姿・人・姿勢・言葉づかい・しぐさ・
歌・音楽・音色・色・絵・写真・物語・文字・言葉

- ② 「() 平和」 () に入る言葉をたくさん考えよう。
世界の・日本の・地球の・これからの・明るい・笑顔がいっぱいの・
やさしさあふれる・助け合いでいっぱい・かけがえのない・大切な・
みんなでつくる・みんなときづく・一人ひとりが考える・みんなの・
明日に続く・新しい世代へつなぐ・いつまでも続く・永遠の・
語り継ぐ・受け継ぐ・守り抜く

- ③ なぜ「美しい」と「平和」を組み合わせているのだろう。
- ・ 「美しい」が付くと、すごくすてきな平和な世界だとわかるから。
 - ・ 「美しい」と組み合わせることで、平和が素晴らしいものとして思いうかべることができるから。
 - ・ 平和そのものが美しいことだから。
 - ・ 平和は目には見えないけれど、きっと美しいはずだから。
 - ・ 平和を願う心は美しいから。
 - ・ 平和ということは、心がおだやかであること。そのためには、つねに心がきれいで美しくなるようにするところから始めよう、ということ。
 - ・ みんなのやさしい心や争いをやめてゆるしあえる心はすごく美しいから。そういう心が平和につながる。
 - ・ ただ戦争をしないという意味ではなく、「たがいに助け合って、ゆずり合って、分け合って、ケンカをせずに」という平和を表すために「美しい」を付けている。
 - ・ 自分たちのよい行いで、きれいで美しい世界をつくろう、という意味。
 - ・ 世の中が平和であることで、美しい景色を見ることができるから。戦争になったら、家や町がぐちゃぐちゃになってしまう。
 - ・ ②で考えた言葉は全部「美しい」という言葉につながるから。
 - ・ 美しい世界にしたら平和になるから。
 - ・ 世界平和の先に美しい地球があるから。

「へいわのたね」

【課題】「へいわのたね」とは、何だろう。

【子どもたちから】

- ① 「たね」を他の言葉に置きかえてみよう。

もと、はじまり、きっかけ、一歩

② ふだんの生活の中で、「平和のもと」になることは何だろう。

- ・ 仲良くすること
- ・ 人にやさしくすること、親切にすること、思いやり
- ・ 人が嫌がることをしない、人が傷つくことを言わない
- ・ 助け合い、協力
- ・ ゆずり合い
- ・ 許し合い
- ・ 「ありがとう」「ごめんなさい」がすなおに言える心
- ・ 感謝すること
- ・ あいさつをすること

「Orizuru」

【課題】「ゆるしあえるゆうき」とは、どういう意味なのだろう。

人に許してもらうのには勇気がいるが、相手を許すのに勇気がいるのだろうか。

【子どもたちから】

- ・ 自分をいじめる人を許すのは、勇気がいるのと同じ。
- ・ けんかの時でも必要なこと。許す勇気は、人間としてなくてはならないもの。
- ・ 相手を許したとしても、その先、どうなるかはわからない。また裏切られるのではないか、相手を信じていいのか、という不安がある。その不安な気持ちを打ち消すために勇気が必要。
- ・ 人を許すそうとする時には、相手を信じていることができるかどうかに関わってくる。勇気を出して相手を信じて許せば、相手も変わり、自分も変わると思う。
- ・ にくしみあいが続けていても、何も変わらない。
- ・ 許し合わないと、また戦争が起きるかもしれない。
- ・ にくしみをのりこえて進んでいくのが平和への第一歩。

平和の歌の歌詞について考えることは、人としての生き方を問うことにつながっていききました。普段の生活の中で、自分ができるところから行っていくことを子どもたちと確認し合いました。